

中学生・若者アンケートと市民意識調査の結果について

第二次総合計画後期基本計画とは

総合計画は、市のすべての計画の最上位となる計画です。まちづくりの基本となるもので、10年を計画期間としています。

今年度は、平成27年度に策定した第二次総合計画前期基本計画の最終年度にあたるため、残り

5年間（令和3～7年）の後期基本計画を策定することになります。

第二次総合計画後期基本計画の策定にあたり、行政の取組に対する評価や満足度を把握するため、中学生・若者アンケートと市民意識調査を実施しました。

中学生・若者アンケート結果

中学生

- 調査対象 市立中学校の生徒532名
- 調査方法 学校を通じて配布・回収
- 回答者 493名（回収率92.7%）
- 調査時期 令和元年7月

(1) 下野市のことをどう思うか

中学生の80.1%が、「好き」または「どちらかといえば好き」と回答しています。

中学生の87.7%が、「住みやすい」または「どちらかといえば住みやすい」と回答しています。

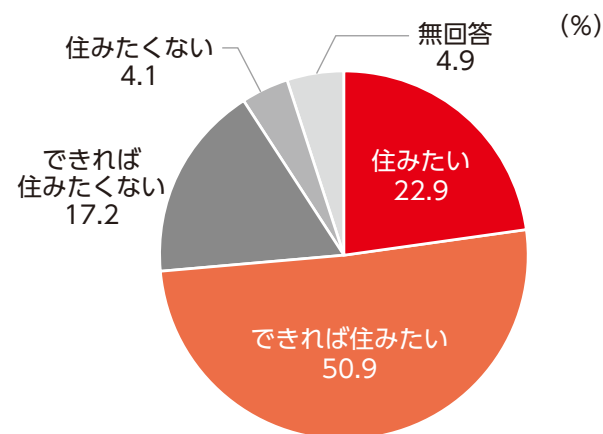
(2) 自慢できるもの・将来に残したいもの

自然、かんぴょうやいちごなどの農産物
自治医大などの医療機関
薬師寺や国分寺などの歴史的環境
住みやすい環境、祭り

(3) 下野市に将来も住み続けたいか

中学生の73.8%が、「住みたい」または「できれば住みたい」と回答しています。

- 住みたい主な理由
「暮らしやすいから」「住みなれているから」
- 住みたくない主な理由
「下野市以外の生活にあこがれているから」



(4) どうなれば住みたいと思うか

「商業の活性化」「賑わいづくり」「働く場所」を求める意見が多くあげられました。

若者

調査対象

高校2年生に相当する市民613名

調査方法

郵送配布・郵送回収

回答者

154名（回収率25.1%）

調査時期

令和元年7～8月

(1) 下野市のことをどう思うか

若者の77.3%が、「好き」または「どちらかといえば好き」と回答しています。

若者の90.3%が、「住みやすい」または「どちらかといえば住みやすい」と回答しています。

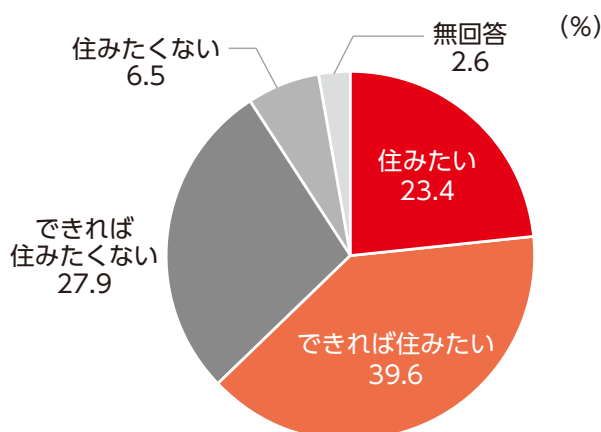
(2) 自慢できるもの・将来に残したいもの

医療・病院、かんぴょう、自然、公園、歴史

(3) 下野市に将来も住み続けたいか

若者の63.0%が、「住みたい」または「できれば住みたい」と回答しています。

- 住みたい主な理由
「暮らしやすいから」「住みなれているから」
- 住みたくない主な理由
「下野市以外の生活にあこがれているから」



(4) どうなれば住みたいと思うか

「賑わい・活気のあるまち」「働く場所」「コミュニティ・ふれあい」を求める意見が多くあげられました。

都会や未知の土地での暮らしにあこがれる気持ちは抑えようがありませんが、その後、帰ってきたい故郷・下野市を目指します。